

北設楽地方における児童・生徒の着衣に関する調査(第1報)

通学服および制服について

酒井清子・奥田京子

Studies on the Clothes for Pupils and Students in the Kitashitara District (Part 1)

On the Clothes for Going to School

K. SAKAI and K. OKUDA

はじめに

衣生活における衣服材料の多様化現象は非常にめまぐるしく、衣服着用状態もさまざまである。その中で成人衣服に関する着衣調査は、従来比較的多くの報告がなされているが、成長期にある児童・生徒の着衣調査は非常に少ない。特に今回は、本学生活科学研究所の機関研究の一環として「北設の生活文化」の調査に加わり、都市文化の影響を直接に受けることが少ない地形的に閉ざされた山間地域での児童・生徒の衣生活の変遷と現在の衣服着用状態の実態調査を行うことが出来たので、今後児童・生徒の健康増進のための衣料資料ならびに学校教育におけるよりよい衣生活の指導に活用できればと考えている。

方 法

I. 調査期間 昭和55年5月～57年7月

II. 調査地域

北設地方各町村において調査を実施した学校は表1の通りである。

III. 調査内容

児童・生徒の通学服・制服の変遷ならびに現在通学に着用している衣服の着衣傾向について調査した。

1. 通学服の変遷

各6か町村の調査校の中から小学校10校、中学校8校、高等学校2校において、通学服・制服に関する聞き取り調査および学校に残在する写真等を資料とした。

2. 着衣傾向

著者酒井が、日本家政学会被服構成研究委員会で先に行った「全国小・中学校の着装に関する調査」の調査方法に従い、同一の調査用紙を用い、集合調査法によって行った。

1) 調査対象 各調査校における対象人員を表2に示した。

表1 調査校

所在地	学校別	小学校	中学校	高等学校
東栄町		中央	東栄	本郷
設楽町		清崎, 名倉 田峯, 御園 押川, 黒川	名倉 清嶺 田口	田口
稲武町		稲武	稲武	—
津具村		津具	津具	—
豊根村		豊根	豊根	—
富山村		富山	富山	—

表2 調査対象

(単位人)

学校別	学校別略号	所在地	性別	調査月		1 月						7 月					
				学	年	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
				小	中												
小 学 校	A	東栄町	男	8	11	11	11	6	10	6	6	7	11	9	9		
			女	14	11	8	7	7	9	13	12	12	6	5	7		
	B	設楽町	男	6	7	7	9	6	3	3	2	10	4	7	11		
			女	6	4	3	4	3	1	1	3	7	1	5	6		
	C	稲武町	男	14	13	12	15	22	19	12	15	3	7	24	20		
			女	10	14	17	9	12	10	11	9	7	7	11	18		
	D	津具村	男	13	13	16	12	11	13	8	12	17	8	12	11		
			女	12	15	19	13	10	14	14	8	20	17	12	12		
	E	豊根村	男	12						5							
			女	14						8							
	F	富山村	男	5						6							
			女	5						4							
中 学 校	A	東栄町	男	52	55	38							22	33	82		
			女	38	41	45							17	26	67		
	B	設楽町	男	22	17	23							5	6	6		
			女	17	24	32							9	10	9		
	C	稲武町	男	38	24	29							26	42	24		
			女	26	23	19							15	28	23		
	D	津具村	男	16	12	21							13	18	12		
			女	12	11	17							14	12	11		
	E	豊根村	男	13	12	17							8	10	12		
			女	19	7	8							15	17	7		
	F	富山村	男	6									4				
			女	5									7				

2) 測定時期 昭和56年1月(最寒期)と昭和56年7月(最暖期)の2回とし、各月中旬に実施した。

調査結果及び考察

1. 通学服の変遷

(1) 小学校 学校記念誌の写真資料と聞き取り調査より検討した。

<名倉小学校> 明治35年に男子教員5人が洋服姿(詰襟)であったが、児童の方は、明治36年~大正13年頃でも緋の羽織、袴を着用していた。大正14年には、男児にも数人の洋服姿(詰襟)が見られ、昭和9年には35人中12人が学生服となった。しかし女児は、まだ着物姿であった。その後、男児においては、昭和10年に33人中着物の者がわずか7人となり洋服姿が増え始め、昭和11年にはほとんどが洋服着用となった。女児も昭和10年には洋服着用者が見られるようになったが、28人中わずか2人でセーラー服であった。女児が全員洋服になったのは、昭和16年頃であり、男児と女児の洋服着用時期は約5年の差が見られた。図1は現在の男女児通学服であり、昔に比べると大変自由である。



図1 現在の服装(名倉小学校)

<稲武小学校> 大正2年3月においては、男女児共緋の着物に袴着用で、男児は坊主頭、女児は頭の上に髷を結っていた。大正4年に男児は学生帽を被る様になり、大正14年頃に女児は髪を後ろで一つに纏めていた。昭和2年になると、男児の学生服が若干見られ、昭和10年にはほとんどの男児が学生服となったが、女児の洋服着用はわずかであった。昭和11年には女児

全員セーラー服になり、下衣もズボンからスカートに変わり、昭和35年に女兒はスモックを着用するようになった。現在、服装はまったく自由である。

〈田峯小学校〉 明治39年頃には、男女児共着物であったが、昭和7年に男児1818人中3人だけが着物で、他は学生服となった。しかしこの頃、女兒はまだ全員着物であり、昭和10年になって22人中3人のみセーラー服が見られ、その後、昭和11年に男女児共制服着用となった。

〈御園小学校〉 明治44年頃は男女児共着物で、洋服着用者は教員5人中1人のみであった。昭和2年には男児16人中4人が学生服となったが、女兒はまだ全員着物であった。昭和11年頃は男児12人中1人のみ着物着用が見られた。その後、昭和12年では女兒17人中8人がセーラー服で、昭和16年になると男児全員学生服となり、昭和17年に入ると女兒も全員セーラー服に変わった。

〈押川小学校〉 明治42年頃は男女児共全員着物で、洋服着用者は教員5人中2人であった。大正5年には男子教員全員洋服（詰襟）となったが、女子教員はまだ着物であった。児童の方は昭和5年に男児15人中2人が学生服で、昭和8年には男児15人中1人のみが着物となり、女兒は17人中1人のみセーラー服となった。男児は昭和9年頃から全員学生服で、女兒は昭和15年頃から全員セーラー服着用になった。

〈黒川小学校〉 明治43年頃は全員着物であったが、大正11年に男子教員は洋服（詰襟）を着用しており、昭和6年に男児28人中14人が学生服、昭和8年に男子は全員学生服となった。女兒は昭和12年に36人中3人のみが着物であったが、昭和21年になると全員セーラー服となり、昭和36年にはスモックを着用するようになった。

〈中央小学校〉 本郷小学校と西園目小学校が昭和35年に統合して中央小学校となった。

当校においては、昭和37年夏の期間のみ白のセーラー服が着用されたが、昭和40年にセーラー服とスモックに変更した。女兒の下衣は、昭和53年までズボン着用がほとんどであったが、昭和54年に入るとスカート着用となった。

〈豊根小学校〉 昭和42年9月、豊根小学校に三沢分校が統合して現在の豊根小学校が創立された。

昭和35年までは服装は自由であったが、その後スモック（濃紺、白衿付）を着用するようになった。また昭和54年からジャージ（紺色、2本の白ライン入り）を男女児共着用する様になり、今後も制服として考えているとのことであった。図2は現在着用しているものである。

〈富山小学校〉 図3-1は現在の着衣状態であり、図3-2は学校で規定し、今後着用するものである。

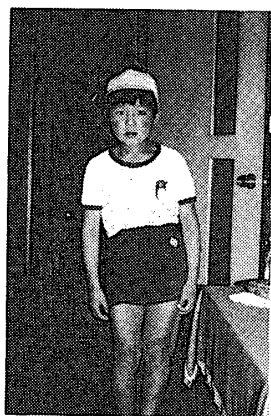


図2 現在の服装
(豊根小学校)



図3-1 現在の服装



図3-2 学校規定
(富山小学校)

(2) 中学校 新学制により、昭和22年に各中学校が発足し、開校した。各学校の通学服・制服は開校以来あまり変化が顕著でなかったが、写真資料、聞き取り調査より検討した。

〈名倉中学校〉 昭和23年～25年頃、女子は上衣セーラー服、下衣もんぺを着用していたが、昭和28年頃よりセーラー服に統一化された。その後、昭和48年頃まで上衣セーラー服、下衣ズボンがほとんどであったが、昭和49年頃からは下衣がスカートになった。男子は上衣学生服、下衣ズボン着用でほとんど変化が見られなかった。

〈清嶺中学校〉 昭和24年頃から制服を着用している。現在、男子は学生服で女子は衿と袖口に2本の白ラインの入ったセーラー服を着用し、衿に黒いリボンをつける。また、夏は白の半袖で、図4-1、図4-2に示した。

〈津具中学校〉 現在、男子は学生服、女子は衿に2本の白ライン入りのセーラー服である。昭和47年頃までは女子のズボン着用が多かったが、現在は全員スカートを着用している。

〈豊根中学校〉 昭和48年頃までは、豊根村に坂宇場中学校、三沢中学校、豊根中学校の3校があった。当時、坂宇場中学校の男子は学生服で、帽子は衣替えの季節になると白いカバーを付け、冬になるとカバーをはずした。女子は衿と袖口に2本のラインが入った濃青のセーラー服で、夏には衿に白いカバーを付けた。また、三沢中学校と豊根中学校も男子は学生服であり、女子は衿と袖口に2本のラインが入ったセーラー服であった。現在は3校が統合して豊根中学校となり、男子は学生服、女子は衿、袖口に太めのライン1本が入ったセーラー服を着用している。また冬は、スカートの代わりにズボンを着用し、最近では、日常ジャージを着る者も増加している。

〈富山中学校〉 生徒数が男子7名、女子5名の大変少数であるが、他校同様男子は学生服、女子はセーラー服を着用している。セーラー服は冬は紺、夏は白で、衿に濃紺の白ライン2本入りである。また、昭和57年の4月より体育時に、マーク入りの紺ジャージを男女共着用する様になった。

〈稲武中学校〉 昭和22年に黒田中学校、小田木中学校、稲橋中学校の3校が統合し、さらに昭和32年押川中学校、昭和37年大野瀬中学校が統合して現在の稲武中学校になった。

現在男子は学生服で、女子は衿に2本の白ライン入りのセーラー服と車ひだのスカートを着用している。体育時の服装はVネックシャツで衿と袖に男子は紺、女子はエンジの縁どりがしてある。

〈田口中学校〉 昭和23年、24年頃、女子はセーラー服ともんぺを着用していたが、神田中学校と統合した昭和35年頃には、セーラー服とズボンを着用していた。昭和40年頃に入ると現

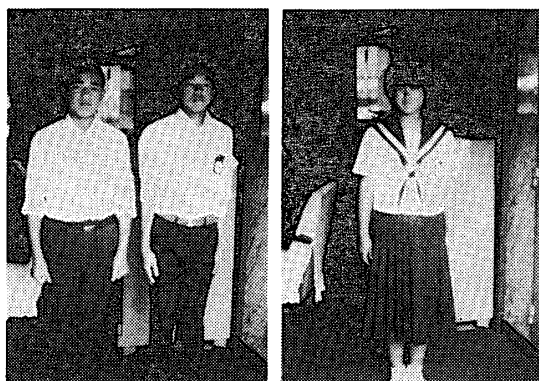


図4-1 図4-2
制服 (清嶺中学校夏用)

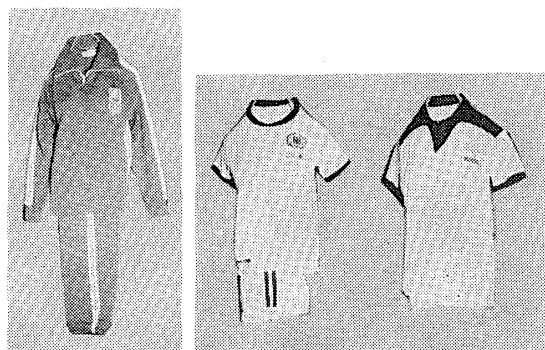


図5-1 図5-2
体操服 (田口中学校)

在のように男子は学生服，女子はセーラー服とスカートになった．図5-1はジャージで男女共通学用によく着用する．図5-2は体育時のシャツで下衣は男子が短パン，女子はブルマー（紺）をはく．

(3) 高等学校 各学校の通学服・制服は開校以来あまり変化が顕著でなかったが，写真資料，聞き取り調査より検討した．

〈田口高等学校〉 当校は，昭和23年に農林学校が廃止され高等学校となった．図6-1，図6-2が現在の制服である．図のように女子は普通衿に白カラーを付けるが，式等の時にはカラーをはずして着用する．

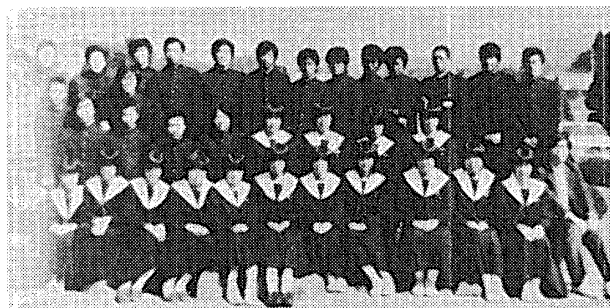


図6-1

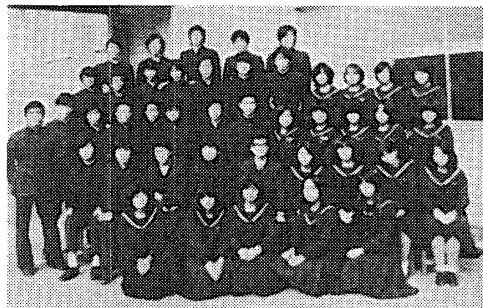


図6-2

制 服 （田口高等学校冬服）

〈本郷高等学校〉 当校は，昭和23年に組合い町立高等学校として発足し，昭和25年に本郷高等学校となった．男子は以前より学生服で，女子は冬が濃紺，白衿のセーラー服と28本のひだスカートを着用し，夏は白のセーラー服である．また衿に付けるリボンの色が学年ごとにエンジ，青，茶と違い，長さ155 cm，巾9.5 cmのバイヤス裁ちのものを使用している．昭和47年にセーラー服が衿なしのブレザーに変わり，下にショールカラーのブラウスを着用したが，余り続かなかった．

2. 着 衣 傾 向

各調査校において，着衣枚数，着衣服種数，着衣組合わせ数を学年別，男女別に検討した．

調査校は小学校をA-中央，B-清崎，C-稲武，D-津具，E-豊根，F-富山，中学校をA-東栄，B-清嶺，C-稲武，D-津具，E-豊根，F-富山と示した．

1) 着衣枚数 小学校のE，F，中学校のFは，児童・生徒数が少ないため学年別を避け，同一集計とした．

(1) 全身枚数

小学生の全身着衣枚数を表3に示した．

調査月1月では，男児の着衣枚数は4～11枚で，A，B，C，D，Eの6～7枚が多い．6年生ではDの8枚が57.8%を占め，Fでは全員が5枚着用である．また女児の着衣枚数は2～10枚で，6校とも6～7枚が多い．中でも，Aの3年生で5枚が50.0%，更にDにおいては5年生の5枚が66.7%，1年生の8枚が50.0%，6年生の8枚が57.2%と半数以上の着用者がいる．

調査月7月では，男児の着衣枚数が3～6枚で，6校とも3枚の着用が多い．Cの4年生は4枚が47.1%と半数を示し，Dの6年生は5枚が90.9%と大半を示している．また女児の着衣枚数は2～5枚で，6校とも3～4枚が多いが，着衣枚数5枚においてCの6年生で57.6%，

表3 着衣枚数(全身)小学生

(单位%)

学校略号	所在地	性別	調査月 学年	1 月						7 月						
				1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
				枚数												
A	東 栄 町	男	7	—	—	9.1	9.1	16.7	50.0	—	—	—	—	—	—	—
			6	62.5	72.7	72.7	54.5	50.0	40.0	—	—	—	—	—	—	—
			5	37.5	9.1	9.1	27.3	33.3	10.0	—	—	—	—	—	—	—
			4	—	18.2	9.1	9.1	—	—	16.7	—	—	—	27.3	11.1	33.3
			3	—	—	—	—	—	—	88.3	100.0	100.0	72.7	88.9	66.7	—
			2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	8	14.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			7	35.7	18.2	—	14.2	14.2	—	—	—	—	—	—	—	—
			6	35.7	72.7	25.0	28.7	28.7	22.2	—	—	—	—	—	—	—
			5	14.3	9.1	50.0	28.7	42.9	77.8	—	—	8.3	—	20.0	14.3	—
			4	—	—	—	14.2	14.2	—	46.2	41.7	33.3	66.7	20.0	57.1	—
			3	—	—	25.0	14.2	—	—	46.2	58.3	38.4	33.3	60.0	28.6	—
B	設 楽 町	男	9	16.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			8	16.7	20.6	14.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			7	—	28.6	42.8	44.5	—	—	—	—	—	—	—	—	
			6	49.9	28.6	28.6	22.2	—	66.7	—	—	—	—	—	—	
			5	16.7	14.2	14.3	33.3	100.0	33.3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	—	50.0	20.0	25.0	—	9.1	
		女	3	—	—	—	—	—	—	100.0	50.0	80.0	75.0	100.0	90.9	—
			7	50.0	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			6	33.3	50.0	66.7	75.0	33.3	100.0	—	—	—	—	—	—	—
			5	16.7	—	33.3	25.0	66.7	—	—	—	—	—	—	—	—
			4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40.0	16.7	—
			3	—	—	—	—	—	—	100.0	66.7	85.7	100.0	60.0	83.3	—
C	福 武 町	男	10	—	—	8.3	—	4.5	—	—	—	—	—	—	—	
			9	—	7.7	8.3	6.7	4.5	—	—	—	—	—	—	—	
			8	21.4	15.4	16.7	—	18.3	15.8	—	—	—	—	—	—	
			7	57.2	7.7	41.7	40.0	27.3	36.8	—	—	—	—	—	—	
			6	21.4	46.2	25.0	40.0	40.9	26.4	—	—	—	—	—	—	
			5	—	23.0	—	13.3	4.5	10.5	—	—	—	—	—	—	
		女	4	—	—	—	—	—	10.5	8.3	26.7	—	57.1	16.7	35.0	
			3	—	—	—	—	—	—	91.7	66.6	100.0	28.6	79.1	60.0	
			2	—	—	—	—	—	—	—	6.7	—	14.3	4.2	5.0	
			9	10.0	—	—	—	8.3	—	—	—	—	—	—	—	
			8	—	7.1	11.8	—	8.3	—	—	—	—	—	—	—	
			7	40.0	14.3	58.8	33.3	50.0	20.0	—	—	—	—	—	—	
D	津 具 村	男	6	40.0	64.3	23.5	66.7	25.1	60.0	—	—	—	9.1	5.6		
			5	—	14.3	5.9	—	8.3	20.0	9.1	11.1	—	28.6	36.4		
			4	—	—	—	—	—	—	36.4	22.2	71.4	42.8	45.4		
			3	10.0	—	—	—	—	—	54.5	66.7	28.6	28.6	9.1		
			2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
		女	11	—	—	—	—	9.1	—	—	—	—	—	—	—	
			9	15.4	—	6.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			8	23.1	15.4	12.5	16.7	45.4	53.8	—	—	—	—	—	—	
			7	61.5	53.8	43.8	50.0	27.3	46.2	—	—	—	—	—	—	
			6	—	30.8	37.5	33.3	18.2	—	—	—	—	12.5	—		
			5	—	—	—	—	—	—	12.5	—	—	—	25.0		
E	豊 根 村	男	4	—	—	—	—	—	—	—	—	37.5	58.3	9.1		
			3	—	—	—	—	—	—	87.5	100.0	100.0	50.0	16.7		
			10	8.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			9	8.3	20.0	—	—	10.0	35.7	—	—	—	—	—		
			8	50.0	33.3	21.0	38.5	30.0	57.2	—	—	—	—	—		
			7	33.4	40.0	58.0	38.5	60.0	7.1	—	—	—	—	—		
		女	6	—	6.7	21.0	23.0	—	—	—	—	—	—	8.3	—	
			5	—	—	—	—	—	—	—	—	10.0	5.9	58.3	41.7	
			4	—	—	—	—	—	—	7.1	50.0	25.0	64.7	16.7	33.3	
			3	—	—	—	—	—	—	92.9	50.0	65.0	23.5	16.7	25.0	
			2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
F	富 山 村	男	7	—	—	8.3	—	—	—	—	—	—	—	—		
			6	—	—	75.0	—	—	—	—	—	—	—	—		
			5	—	—	16.7	—	—	—	—	—	—	—	—		
		女	4	—	—	—	—	—	—	—	—	40.0	—	—		
			3	—	—	—	—	—	—	—	—	60.0	—	—		
			7	—	—	42.8	—	—	—	—	—	—	—	—		
F	富 山 村	男	6	—	—	35.7	—	—	—	—	—	25.0	—			
			5	—	—	21.5	—	—	—	—	—	50.0	—			
			4	—	—	—	—	—	—	—	—	25.0	—			
		女	5	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—		
			4	—	—	—	—	—	—	—	—	50.0	—	—		
			3	—	—	—	—	—	—	—	—	50.0	—	—		

Dの5年生で58.3%，Eで50.0%と半数を占めている。

中学生の全身着衣枚数を表4に示した。

調査月1月では、男子の着衣枚数は3～11枚で、A、B、C、D、Eいずれも6～7枚が多い。女子の着衣枚数は4～9枚で、A、B、C、Dとも7枚が多く、またEの1年生6枚が84.2%と多数を占めている。Fにおいては5～6枚を着用し、中でも6枚は60.0%と半数以上の者がいる。

調査月7月では、男子の着衣枚数が3～6枚で、A、B、C、D、Eの4～5枚が多く、また3枚がEの2年生では60.0%，Fでは75.0%と多数を占めている。女子の着衣枚数は4～7枚で、A、B、C、D、Fいずれも5枚が多く、Cの3年生で6枚が65.2%，Fの3枚が57.0%と半数以上を示している。

(2) 上半身枚数

小学生の上半身着衣枚数を表5に示す。

調査月1月では、男児の着衣枚数は2～7枚で、A、B、C、Dの4～5枚が多く、Eの4枚が66.0%，Fの3枚が100%と児童の多数が占めている。また女児は、着衣枚数が1～7枚で、A、B、C、Dの4～5枚が多い。E、Fにおいては3～5枚が多くを占めている。中でもFは4枚が80.0%と多数の着用者がいる。

調査月7月では、男児の着衣枚数が1～3枚で、6校とも1枚の着用者が多い。また女児の着衣枚数は1～4枚で、A、B、C、Dでの1～2枚が多く、4年生におけるCの3枚が58.6%、Eの2～3枚が50.0%、Fの1枚が75.0%と半数以上を示している。

中学生の上半身着衣枚数を表6に示した。

調査月1月では、男子の着衣枚数が3～8枚で、A、B、C、D、Eの4枚が多く、1年生においてはEの3枚が69.2%、Fの3枚が50.0%と半数を占めている。また女児の着衣枚数は2～6枚で、6校とも3～4枚が多い。

調査月7月では、男子の着衣枚数1～3枚で、A、B、C、D、Eの2枚が多い。1枚のみ着用がAでは3年生で65.1%、Eでは2年生で60.0%、Fでは75.0%と多い。女子の着衣枚数は2～4枚で6校とも2～3枚が多いが、Fの1枚が57.1%と半数以上を示している。

(3) 下半身枚数

小学生の下半身着衣枚数を表7に示した。

調査月1月では、男児の着衣枚数が2～5枚で、6校とも2枚が多く、Eで75.0%、Fで100%と多数を占めている。女児の着衣枚数は1～4枚で、中でも2枚をEが92.8%、A、B、C、Fが100%を占めている。また3枚をDにおいては2年生が66.7%、4年生が61.5%、5年生が60.0%と半数以上を着用している。

調査月7月では、男児の着衣枚数は1～2枚で、2枚着用が6校とも100%を占めている。女児の着衣枚数は1～3枚であるが、2枚着用がA、C、D、Fにおいて、また1枚着用がBの1・2・4年生において、それぞれ100%を示している。

中学生の下半身着衣枚数を表8に示した。

調査月1月では、男子の着衣枚数は2～4枚で、2枚着用がB、E、Fに多く、3枚着用がA、Dに多い。女子の着衣枚数は2～4枚で、A、B、C、Dでは2枚の着用が100%で、Fにおいても3枚が多数を占めている。

調査月7月では、男子の着衣枚数は2～3枚で、3枚がA、B、C、Dにおいて多数を占め、2枚がE、Fにおいて大きな値を示している。また女子の着衣枚数は1～4枚で、3枚をA、B、

表4 着衣枚数(全身) 中学生

(単位%)

学校 略号	所在地	性別	調査月 学年	1 月			7 月				
				1	2	3	1	2	3		
				枚数							
A	東 米 町	男	11	1.9	—	—	—	—	—		
			9	—	1.8	—	—	—	—		
			8	3.8	9.1	—	—	—	—		
			7	46.3	36.4	21.1	—	—	—		
			6	34.6	32.7	50.0	4.5	15.2	4.9		
			5	9.6	14.5	23.7	54.6	66.6	20.7		
			4	3.8	5.5	5.2	31.8	18.2	67.1		
		3	—	—	—	9.1	—	7.3			
		9	2.6	—	4.4	—	—	—			
		8	18.5	4.9	6.7	—	—	—			
		7	60.5	34.1	24.4	—	—	1.5			
		6	15.8	46.4	46.7	47.1	26.9	43.3			
		5	2.6	12.2	15.6	47.1	73.1	55.2			
		4	—	2.4	2.2	5.8	—	—			
B	設 楽 町	男	7	18.2	47.0	13.0	—	—	—		
			6	54.6	41.2	65.2	20.0	—	—		
			5	22.7	11.8	21.8	20.0	100.0	100.0		
			4	4.5	—	—	60.0	—	—		
		9	5.9	8.4	—	—	—	—			
		7	23.5	20.8	31.3	—	—	—			
		6	64.7	50.0	31.3	11.1	20.0	—			
		5	—	20.8	28.1	88.9	80.0	100.0			
		4	5.9	—	9.3	—	—	—			
		C	稲 武 町	男	8	7.9	8.3	6.9	—	—	—
					7	39.5	29.2	48.3	—	—	—
					6	36.8	20.8	17.3	3.8	2.4	—
					5	13.2	41.7	24.1	34.6	85.7	75.0
					4	2.6	—	3.4	53.9	11.9	25.0
3	—				—	—	7.7	—	—		
8	11.5				21.7	10.5	—	—	—		
7	61.5			56.6	42.1	—	—	—			
6	19.3			21.7	31.6	40.0	35.7	65.2			
5	7.7			—	15.8	46.7	64.3	30.5			
4	—			—	—	13.3	—	—			
3	—			—	—	—	—	4.3			
D	津 具 村			男	9	—	8.3	—	—	—	—
					8	12.5	25.0	—	—	—	—
		7	81.2		50.0	33.3	—	—	—		
		6	—		16.7	33.3	15.4	5.6	—		
		5	6.3		—	28.6	61.5	11.1	75.0		
		4	—		—	4.8	23.1	83.3	25.0		
		8	16.7		36.4	—	—	—	—		
		7	58.3	45.4	—	—	—	—			
		6	25.0	18.2	94.1	—	8.3	9.1			
		5	—	—	5.9	100.0	91.7	90.9			
		女	7	7.7	8.3	5.9	—	—	—		
			6	23.1	66.7	29.4	—	—	—		
			5	61.5	16.7	47.1	25.0	—	—		
			4	7.7	8.3	17.6	50.0	40.0	83.3		
3	—		—	—	25.0	60.0	16.7				
7	10.5		57.1	—	—	—	—				
6	84.2		28.6	12.5	6.7	—	28.6				
5	5.3	14.3	52.5	86.6	88.2	42.8					
4	—	—	25.0	6.7	11.8	28.6					
E	豊 根 村	男	7	7.7	8.3	5.9	—	—	—		
			6	23.1	66.7	29.4	—	—	—		
			5	61.5	16.7	47.1	25.0	—	—		
			4	7.7	8.3	17.6	50.0	40.0	83.3		
		3	—	—	—	25.0	60.0	16.7			
		7	10.5	57.1	—	—	—	—			
		6	84.2	28.6	12.5	6.7	—	28.6			
5	5.3	14.3	52.5	86.6	88.2	42.8					
4	—	—	25.0	6.7	11.8	28.6					
F	富 山 村	男	6	—	16.7	—	—	—			
			5	—	50.0	—	—	—			
			4	—	33.3	—	25.0	—			
			3	—	—	—	75.0	—			
		6	—	60.0	—	—	—				
		5	—	40.0	—	—	—				
		4	—	—	—	—	42.9				
3	—	—	—	—	57.1						

表5 着衣枚数（上半身）小学生

(单位%)

学校略 别号	所在地	性別	学年	調査月						7月					
				1月						7月					
				1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
A	東 栄 町	男	7	—	—	—	—	16.7	—	—	—	—	—	—	—
			6	—	—	—	—	50.0	—	—	—	—	—	—	—
			5	—	—	9.1	—	33.3	50.0	—	—	—	—	—	—
			4	50.0	72.7	72.7	54.5	—	40.0	—	—	—	—	—	—
			3	50.0	9.1	9.1	36.4	—	10.0	—	—	—	—	—	—
		2	—	18.2	9.1	9.1	—	—	16.7	—	—	—	27.3	11.1	33.3
		1	—	—	—	—	—	—	83.3	100.0	100.0	72.7	88.9	66.7	—
		5	21.4	18.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		4	57.2	72.7	37.5	42.9	42.9	22.2	—	—	—	—	—	—	—
		3	21.4	9.1	37.5	28.7	57.1	77.8	—	—	—	—	—	—	—
2	—	—	12.5	14.2	—	—	38.5	50.0	25.0	66.7	40.0	71.4	—		
1	—	—	12.5	14.2	—	—	61.5	50.0	75.0	33.3	60.0	28.6	—		
B	設 栄 町	男	6	33.3	—	14.3	—	—	—	—	—	—	—	—	
			5	—	42.9	28.6	44.5	—	—	—	—	—	—	—	
			4	50.0	42.9	42.8	22.2	100.0	66.7	—	—	—	—	—	
			3	16.7	14.2	14.3	33.3	—	33.3	—	—	—	—	—	
			2	—	—	—	—	—	—	—	50.0	30.0	25.0	—	9.1
		1	—	—	—	—	—	—	100.0	50.0	70.0	75.0	100.0	90.9	
		5	50.0	25.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		4	33.3	75.0	66.7	75.0	33.3	100.0	—	—	—	—	—	—	
		3	16.7	—	33.3	25.0	66.7	—	—	—	—	—	—	—	
		2	—	—	—	—	—	—	—	—	14.3	—	40.0	16.7	
1	—	—	—	—	—	—	100.0	100.0	85.7	100.0	60.0	83.3			
C	稲 武 町	男	7	—	—	8.3	—	4.5	—	—	—	—	—	—	
			6	—	23.0	8.3	6.7	4.5	10.5	—	—	—	—	—	
			5	78.6	15.4	58.4	40.0	22.8	31.6	—	—	—	—	—	
			4	14.3	15.4	16.7	40.0	27.3	36.9	—	—	—	—	—	
			3	7.1	26.2	8.3	13.3	40.9	10.5	—	—	—	—	—	
		2	—	23.0	—	—	4.5	10.5	8.3	26.7	—	57.1	16.7	35.0	
		1	—	—	—	—	—	—	91.7	73.3	100.0	42.9	83.3	65.0	
		6	10.0	7.1	—	—	8.3	—	—	—	—	—	—	—	
		5	30.0	14.3	58.8	33.3	41.7	20.0	—	—	—	—	—	—	
		4	50.0	57.2	35.3	66.7	41.7	60.0	—	—	—	—	9.1	—	
3	—	21.4	5.9	—	8.3	20.0	9.0	11.2	—	58.6	36.4	55.6			
2	—	—	—	—	—	—	45.5	44.4	85.7	42.8	45.4	16.7			
1	10.0	—	—	—	—	—	45.5	44.4	14.3	28.6	9.1	27.7			
D	津 具 村	男	6	7.7	7.7	6.2	—	18.2	—	—	—	—	—	—	
			5	76.9	53.8	31.3	58.3	63.6	53.8	—	—	—	—	—	
			4	15.4	38.5	62.5	41.7	18.2	46.2	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	12.5	—	—	12.5	—	
			2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	37.5	83.3	100.0
		1	—	—	—	—	—	—	87.5	100.0	100.0	50.0	16.7	—	
		7	8.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		6	16.7	6.7	5.3	—	10.0	7.1	—	—	—	—	—	—	
		5	75.0	63.3	42.1	53.8	70.0	71.5	—	—	—	—	—	—	
		4	—	30.0	52.6	46.2	20.0	21.4	—	—	—	—	—	—	
3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.3	—			
2	—	—	—	—	—	—	7.1	50.0	25.0	64.7	66.7	75.0			
1	—	—	—	—	—	—	92.9	50.0	75.0	35.3	25.0	25.0			
E	豊 根 村	男	4	66.6						—					
			3	33.4						—					
			2	—						40.0					
		1	—						60.0						
		5	42.8						—						
		4	35.7						—						
F	富 山 村	男	3	100.0						—					
			2	—						50.0					
		1	—						50.0						
		女	4	80.0						—					
3	20.0						—								
2	—						25.0								
1	—						75.0								

表6 着衣枚数（上半身）中学生

(単位%)

学校略号	所在地	性別	調査月 学年 枚数	1 月			7 月		
				1	2	3	1	2	3
				A	東 栄 町	男	8	1.9	—
6	—	3.6	—	—			—	—	
5	5.8	3.6	—	—			—	—	
4	51.9	41.8	28.9	—			—	—	
3	34.6	38.3	55.3	4.5			21.2	4.9	
2	5.8	12.7	5.8	77.3			60.6	28.0	
1	—	—	—	18.2		18.2	68.1		
6	2.6	—	—	—		—	—		
5	18.5	2.4	6.7	—		—	—		
4	60.5	41.5	35.5	—		—	1.5		
3	15.8	41.5	40.0	41.2	26.9	52.2			
2	2.6	14.6	17.8	58.8	73.1	46.3			
B	設 楽 町	男	5	—	—	13.0	—	—	—
			4	72.8	88.2	65.2	—	—	—
			3	22.7	11.8	21.8	20.0	—	—
			2	4.5	—	—	80.0	100.0	100.0
		6	—	4.2	—	—	—	—	
		5	5.9	4.2	3.1	—	—	—	
		4	23.5	20.8	28.1	—	—	—	
		3	64.7	50.0	34.4	—	20.0	77.8	
2	5.9	20.8	34.4	100.0	80.0	22.2			
C	稲 武 町	男	5	10.5	8.3	10.4	—	—	—
			4	47.4	29.2	48.3	—	—	—
			3	39.5	25.0	37.9	3.8	2.4	—
			2	2.6	37.5	3.4	88.5	92.8	87.5
			1	—	—	—	7.7	4.8	12.5
		5	11.5	21.7	15.8	—	—	—	
		4	61.5	56.6	42.1	—	—	—	
		3	23.2	21.7	42.1	40.0	35.7	65.2	
		2	3.8	—	—	60.0	64.3	34.8	
		D	津 具 村	男	5	6.3	33.3	—	—
4	87.4				50.0	33.3	—	—	—
3	6.3				16.7	38.1	15.4	5.6	—
2	—				—	28.6	61.5	11.1	75.0
1	—				—	—	23.8	83.3	25.0
5	16.7			27.3	—	—	—	—	
4	58.3			54.5	—	—	—	—	
3	25.0			18.2	94.1	—	8.3	9.1	
2	—			—	5.9	100.0	91.7	90.9	
E	豊 根 村			男	5	—	—	5.9	—
		4	23.1		66.6	29.4	—	—	—
		3	69.2		16.7	47.1	—	—	—
		2	7.7		16.7	17.6	62.5	40.0	83.3
		1	—	—	—	37.5	60.0	16.7	
		4	5.3	57.1	12.5	—	—	—	
		3	94.7	42.9	62.5	6.7	—	28.6	
		2	—	—	25.0	93.3	100.0	71.4	
F	富 山 村	男	4	—	16.7	—	—	—	
			3	—	50.0	—	—	—	
			2	—	33.3	—	—	25.0	
			1	—	—	—	—	75.0	
		4	—	60.0	—	—	—		
		3	—	40.0	—	—	—		
		2	—	—	—	—	42.9		
1	—	—	—	—	57.1				

表7 着衣枚数（下半身）小学生

(単位%)

学校略号	所在地	性別	学年	調査月	1 月						7 月					
					1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
					枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数
A	東栄町	男	3	12.5	—	—	18.2	16.7	—	—	—	—	—	—		
			2	87.5	100.0	100.0	81.8	83.3	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
			1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		女	3	42.8	—	—	14.2	14.3	—	—	—	25.0	—	20.0	14.3	
			2	57.2	100.0	75.0	85.8	71.4	100.0	92.4	91.7	75.0	100.0	80.0	85.7	
			1	—	—	25.0	—	14.3	—	7.6	8.3	—	—	—	—	
B	設楽町	男	3	16.7	42.9	14.3	—	—	—	—	—	—	—	—		
			2	83.3	57.1	85.7	100.0	100.0	100.0	—	50.0	30.0	25.0	100.0	9.1	
			1	—	—	—	—	—	—	100.0	50.0	70.0	75.0	—	90.9	
		女	3	—	25.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			2	100.0	75.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	—	14.3	—	40.0	16.7	
			1	—	—	—	—	—	—	100.0	100.0	85.7	100.0	60.0	83.3	
C	稲武町	男	3	28.6	15.4	41.7	6.7	9.1	15.8	—	—	—	—	—		
			2	71.4	84.6	58.3	93.3	90.9	84.2	100.0	93.3	100.0	85.7	95.8	95.0	
			1	—	—	—	—	—	—	—	6.7	—	14.3	4.2	5.0	
		女	3	20.0	7.1	23.5	—	33.3	—	—	—	—	—	—	16.7	
			2	80.0	92.9	76.5	100.0	66.4	100.0	90.9	77.8	85.7	100.0	100.0	72.2	
			1	—	—	—	—	—	—	9.1	22.2	14.3	—	—	11.1	
D	津具村	男	5	—	—	—	—	9.1	—	—	—	—	—	—		
			4	7.6	—	6.2	—	—	15.4	—	—	—	—	—		
			3	46.2	15.4	31.3	25.0	36.4	69.2	—	—	—	12.5	25.0	90.9	
			2	46.2	84.6	62.5	75.0	54.5	15.4	100.0	100.0	100.0	87.5	75.0	9.1	
		女	4	—	13.3	—	—	—	42.8	—	—	—	—	—	—	
			3	58.3	66.7	47.4	61.5	60.0	57.2	—	—	20.0	11.8	58.3	41.7	
			2	41.7	20.0	52.7	38.5	40.0	—	100.0	100.0	80.0	82.3	41.7	58.3	
			1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.9	—	—	
			3	—	—	—	25.0	—	—	—	—	—	—	—	—	
E	豊根村	男	2	—	—	—	75.0	—	—	—	—	—	—			
			3	—	—	—	7.2	—	—	—	—	—	50.0	—		
		女	2	—	—	—	92.8	—	—	—	—	—	50.0	—		
F	富山村	男	2	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	100.0			
		女	2	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	100.0		

C, Dにおいて100%, 2枚をFで100%と多数の着用者がいる。

2) 着衣服種数と組合わせ

(1) 着衣服種数

調査月1月, 7月において学年別の変化はあまり見られないが, 小学生, 中学生ともに女子の方が服種数が多く, 各町村で小学校女兒にスモック着用が見られた。上・下半身服種数を表9に示す。

調査月1月における小学生の上半身服種数は, 男児3~12種類, 女児4~12種類, 下半身服種数は, 男児2~7種類, 女児2~6種類で男女児の差はない。また調査月7月における上半身服種数は, 男児2~6種類, 女児1~7種類であり, 下半身服種数は, 男児2~5種類, 女児1~4種類とこれも男女児の差はない。

表8 着衣枚数（下半身）中学生

(単位%)

学校略号	所在地	性別	学年	調査月			7月		
				1	2	3	1	2	3
A	東栄町	男	4	1.9	3.6	—	—	—	—
			3	79.0	80.0	73.7	68.2	97.0	97.0
			2	23.1	16.4	26.3	31.8	3.0	3.0
		女	4	—	2.4	8.7	5.9	—	—
			3	100.0	90.3	82.2	88.2	100.0	100.0
			2	—	9.3	8.9	5.9	—	—
B	設楽町	男	3	18.2	47.1	—	40.0	100.0	100.0
			2	81.8	52.9	100.0	60.0	—	—
		女	4	5.9	8.4	6.3	11.1	—	—
			3	88.2	87.4	71.8	88.9	100.0	22.2
			2	5.9	4.2	21.9	—	—	77.8
			1	—	—	—	—	—	—
C	稲武町	男	3	71.1	100.0	65.5	38.5	92.8	100
			2	28.9	—	34.5	61.5	7.2	—
		女	3	100.0	100.0	73.7	86.7	100.0	95.7
			2	—	—	26.3	13.3	—	—
			1	—	—	—	—	—	4.3
			4	—	—	—	—	—	—
D	津具村	男	4	6.3	8.3	—	—	—	—
			3	87.4	91.7	90.5	100.0	100.0	100.0
			2	6.3	—	9.5	—	—	—
		女	4	—	18.2	—	—	—	—
			3	100.0	72.7	100.0	100.0	100.0	100.0
			2	—	9.1	—	—	—	—
E	豊根村	男	3	15.4	25.0	—	37.5	—	—
			2	84.6	75.0	100.0	26.5	100.0	100.0
		女	4	5.3	—	—	—	—	—
			3	89.4	85.7	—	93.3	88.2	71.4
			2	5.3	14.3	100.0	6.7	11.8	28.6
			1	—	—	—	—	—	—
F	富山村	男	2	100.0			100.0		
		女	2	100.0			100.0		

中学校における上半身服種数は調査月1月で、男子2～15種類と大変服種数に差があり、女子は2～11種類と男子に比べるとあまり差がない。下半身服種数は調査月1月で、男子2～6種類に比べ、女子2～10種類とやや服種の数が多い。

(2) 組合わせ

服種の組合わせは、学年別にあまり差がないので同一集計にし、学校別に検討した。

小学校Aで調査月1月は、男女児とも下衣がズボン、下着に肌シャツを着用している。また調査月7月では、男女児ともパンツ・短パン・体操シャツの組合わせであった。

小学校Bで調査月1月は、女児において上衣にスモック（制服・校服）を着用しており、調査月7月の組合わせはAと同じである。

小学校Cで調査月1月は、男女児とも学生服、スモック着用が多く、また調査月7月は、下

表9 服種数 (上・下)

(単位種)

学校別 学校略号	学年 性別	調査月																								
		1 月						7 月																		
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6													
上下	上下	上下	上下	上下	上下	上下	上下	上下	上下	上下	上下															
小学校	A	男	7	2	9	4	9	2	12	7	9	3	13	4	4	2	3	2	4	2	4	2	4	2		
		女	8	5	10	4	10	3	6	3	7	3	7	3	7	3	7	3	5	3	5	3	4	3	5	3
	B	男	12	4	8	3	5	2	6	2	6	2	6	2	2	2	2	2	3	2	3	2	1	2	4	2
		女	7	3	7	3	6	2	7	2	7	2	4	2	1	1	3	3	4	3	1	1	2	1	4	2
	C	男	12	5	12	3	11	6	10	4	12	4	11	5	3	2	4	3	3	2	4	2	4	3	5	5
		女	11	2	8	5	11	4	12	3	8	5	9	3	6	5	6	3	7	3	7	3	7	3	7	3
	D	男	10	5	10	4	11	5	8	6	8	4	10	4	3	2	2	2	2	2	6	4	4	6	2	4
		女	9	5	11	5	11	6	11	5	8	4	10	5	3	2	3	3	4	3	6	4	7	3	4	3
	E	男	6	3											3	3										
		女	7	3											5	5										
	F	男	3	2											3	4										
		女	4	2											3	4										
中学校	A	男	11	5	7	5	8	5						9	3	6	3	14	3							
		女	10	4	9	4	12	5							9	3	5	3	5	3						
	B	男	8	3	8	4	8	2							4	3	4	3	2	3						
		女	10	5	10	4	9	6							3	4	5	3	4	3						
	C	男	15	3	13	3	11	4							6	4	5	4	3	3						
		女	10	4	10	6	11	5							6	4	7	3	10	3						
	D	男	8	3	8	4	11	4							4	4	5	4	4	3						
		女	9	3	10	4	8	3							5	5	4	5	4	3						
	E	男	6	3	9	3	7	2							5	3	3	2	3	2						
		女	4	4	9	5	7	2							5	3	2	4	3	4						
	F	男	3	2	4	3	4	2							3	2	-	-	-	-						
		女	-	-	6	2	4	2							3	2	-	-	-	-						

衣が男児で短パン，女児でスカートを着用し，上衣は男女児とも体操服かTシャツを着用している。

小学校Dで調査月1月は，男女児とも上衣にジャンパー着用が多く，調査月7月においては，Cと同じである。

小学校Eで調査月1月は，女児にコート着用者がおり，調査月7月はDと同じである。

小学校Fで調査月1月は，Cと同じで，調査月7月は，男女児とも体操シャツが多かった。

中学校Aで調査月1月は，男子上衣学生服，下衣ズボン，女子上衣セーラー服，下衣スカートである。調査月7月は，男子において，上衣学生服の変りにカッターシャツのみを着用している者が多い。

中学校Bで調査月1月は，男女とも制服の下にセーターの着用が多い。調査月7月は，Aと同じである。

中学校Cでは，調査月1月，調査月7月ともBと同じである。

中学校Dで調査月1月は、男子において下着着用なしでジャージやカッターシャツを着用している者が多く、調査月7月にもジャージ着用が多かった。

中学校Eで調査月1月は、男子にランニング着用が多く、調査月7月はCと同じである。

中学校Fで調査月1月は、男女とも上衣にジャージを着用し、調査月7月では、体操服の者がほとんどであったが、これは調査が体育時に行われたと思われる。

各学校とも服種の組合わせは非常に多いが、その中でも小学校において1月では、男児で、パンツ・ズボン・肌シャツ・セーター・ジャンパー、女児は、パンツ・ズボン・肌シャツ・ブラウス・セーター・スモック、7月では男女児ともパンツ・短パン・体操シャツの組合わせが代表的であった。また中学校において1月では、男子で、パンツ・短パン・ズボン・肌シャツ・カッターシャツ・セーター・学生服、女子はパンツ・ブルマー・スカート・スリッパ・ブラウス・セーター・セーラー服で、その他ジャージの着用も多かった。7月では、男子で、パンツ・短パン・ズボン・カッターシャツ、女子はパンツ・ブルマー・スカート・スリッパ・セーラー服が代表的な組合わせであり、制服が決められているので最上衣はほとんど同じであった。

ま と め

北設楽地方における児童・生徒の通学時の衣服着用の実態を調査して、次のようなことが判明した。

1. 通学服の変遷

明治・大正頃の児童・生徒の通学服はすべて着物着用であったが、教員のみ洋服姿が見られた。昭和初期より、徐々に洋風化が地方にも入り込み、児童・生徒の間でも、着物に変わって洋服着用者が出て来た。昭和20年前後には、各調査校においてもほとんどが洋服着用となったが、男児に比べ、女児の洋服着用時期が遅く、当時でも、上衣セーラー服と下衣もんぺという姿であり、下衣スカート着用は非常に後のことである。

現在、小学校では、通学服が自由であるが、女子は校服、制服としてスモック着用が多くなっている。また最近、服種の多様化により、都市においては中学校・高等学校の制服にセーラー服の変りにブレザー等も見られるが、当地方では、男子学生服、女子セーラー服と各学校ほぼ同じで、特に女子における制服では、地域によって中学校卒業後、高等学校進学を考慮して、同町村内の中学校と高等学校でほとんど変更しない所もある。更に最近、体操服関係衣類で多種のものが市販される様になり、体育時以外にも着用する者が多く、学校別に色、形、デザイン等を考え、校服として使用する様になって来ている。

2. 着衣傾向

着衣枚数は、各調査校とも同一調査時期においてほとんど差が見られなかったが、当地方は厳冬のため、重ね着する者が多く、都市部の児童・生徒よりも多い傾向にある。

着衣服種は、衣服製品の多様化により、児童・生徒の間にもかなり多くの服種が見られた。特に、中学校・高等学校は制服があるためよいが、小学校においては、派手な着装を避けるため、最近スモック、体操シャツ等によって統一化の傾向にある。また、着衣の組合わせも非常に多く、特に調査月1月においては、服種数の多いため、同じ組合わせで着用している児童・生徒は希であった。

参 考 文 献

- 1) 名倉中学校創立30周年記念誌, 記念誌実行委員会 (1978)
- 2) 名倉小学校百年史, 実行委員会 (1974)
- 3) 学校沿革史抄・津具中学校 (1970)
- 4) 学校沿革史抄・富山小学校 (1951)
- 5) 学校沿革史抄・稲武小学校 (1982)
- 6) 設楽町教育のあゆみ, 設楽町教育委員会 (1946)
- 7) 学校沿革史・田口高等学校 (1972)
- 8) 酒井清子: 名古屋女子大学紀要, 17, 41~49 (1972)
- 9) 酒井清子: 名古屋女子大学紀要, 27, 25~33 (1981)
- 10) 酒井清子: 名古屋女子大学紀要, 28, 63~75 (1982)
- 11) 酒井清子他: 衣生活研究, 4, 26~32 (1982)
- 12) 酒井清子他: 衣生活研究, 6・7, 47~60 (1982)